果樹総合情報　No.5

令和6年　5月30日発行

JAグリーン長野営農販売部・経済部

◆５月２１日発生の降雹・強風災害について

５月２１日夕方、篠ノ井西部地区を中心に管内全域で降雹及び突風被害がありました。被害に遭われました皆様には心からお見舞い申し上げます。地域によって差がみられますが、特に被害が大きい地域も確認されています。被害対策の必要な地域には特別情報を配布してありますので、確認して対応ください。

◆果樹カメムシ類発生について

昨年に続き、長野県農業試験場病害虫部より、南信地域にカメムシ類の多発生の恐れと注意報が発表されました。管内でも発生が散見されています。防除対策は困難であることから、摘果の際は果実をよく確認して実施ください。

◆「チェック！ながの県農業サポートメール」紹介について

県では農業被害の未然防止と被害軽減を図るため、災害発生の恐れがある場合、農業者の皆さんに技術対策を直接お届けしています。現在、より迅速に、かつ確実に情報をお届けするため、民間の「メールマガジン」を活用した情報配信を無料でしていますので、ご活用ください。

１．メールマガジン㈱まぐまぐ

１）配信時期：　災害の発生が予測される場合、その都度配信します。

２）受信　　：スマートホン等の端末

２．配信する情報

晩霜や台風の影響など農業災害が予想される時などに、事前対策などの情報をお知らせします。

３．登録方法　【URL】 http://www.mag2.com/m/0001627956.html より

◆農作業に係る留意事項について

「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故を起さないよう、常に「安全」の意識を高め、怪我等ないよう作業を実施ください。

また、地域住民より苦情が寄せられています。同じ住民として、配慮しながら農作業をしましょう。

1．高温時の作業、単独作業は極力避け、手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛・汗をかかない・体が熱い・体がだるい・まっすぐ歩けないなど。体調不良となったらすぐに作業を中止しましょう。

のどが渇かなくても20分おきに休憩し、コップ1～2杯以上を目安に水分補給（スポーツ飲料等も）しましょう。

２．農機具利用（スピードスプレーヤ・動力付噴霧器・爆音機等）の際は、日中も含め特に極端に早い時間等の騒音に注意する。※爆音機は、行政より住宅地より200m 以上離す。早朝夜間は使用しないと周知されています）

３．子供たちの登下校、通勤等の時間等、薬剤散布に注意し、対策を実施する。

４．近隣に住宅等ある場合は、住宅や洗濯物への飛散をしないよう、配慮しましょう。

５．剪定枝の焼却は、消防書への届け出を必ず行い、大きな火種や煙に注意（凍霜害資材の燃焼）し、適正な処理をしましょう。

※薬剤防除や焼却は、必要に応じて近隣住民に事前にお知らせする等も実施しましょう。

6．農業用ビニール・ネットが強風などで飛散しないように十分に注意して管理をお願いいたします。

また、電線などに引っ掛かった場合は速やかに関係先への連絡をお願い致します。

７．農産物の盗難に気を付けましょう。また農作業中を狙った車上荒らしやアルミの脚立・農機具の盗難が管内でも発生しています。（放置せずしまう・カギをかける・持ち帰る）

◆防霜ファンの電源カットについて

凍霜害の危険の無い時期になったので電源カットをしてください。

落雷の被害を防ぐ為、防霜ファンのブレーカーを切ってコンセント（コネクター）を抜いて下さい。

センサー（サーモスタット）も風雨のあたらないように収納して下さい。

◆かん水・排水について

１．かん水梅雨になっても雨が不足する場合があります。降水量が少ない場合は積極的にかん水を実施する。
　　干天が続いたら１０日程度に２０㎜程度又は７日程度に１５㎜程度のかん水を行なう。
２．曇天長雨で病害が発生しやすくなるので、農薬散布と耕種的防除の徹底に努める。
　　殺菌剤の散布を丁寧に行う。雨の前に行う（感染する前に予防する）
　　水が溜まる所は排水を図り、長雨に備えて圃場周囲に明きょ・暗きょ等の排水対策を行なう。
　　園の周囲に溝を掘って水を流す。草を伸ばして吸わせるなども合わせて行う。
　　新梢管理や支柱たてなどを行い、風通しを良くさせる。

◆スモモヒメシンクイ対策について

シンクイムシ類は、果樹において、果実害等大きな問題となり、農家の収入に大きな影響を及ぼしてきました。特に、スモモヒメシンクイは、りんご・プルーン・スモモにおいて、甚大な被害となります。

発生源の一つとして、自家用等に園地のプルーン・スモモや庭先に植えられているハナモモ・ボケから、近隣の販売目的に栽培している果実へ飛来している事が、課題となっています。発生源にならないよう、管理作業をお願い致します。近所に見受けられる場合は、声掛けをしてください。

1. 被害果の処理方法

①落果した果実も含め“シンクイムシ類の被害果”はすべて集め、7日以上できるだけ長く水浸けし、果実内の幼虫を殺す。

②被害果を土中に埋めても浅いと羽化できるので、穴は深く掘って埋める。
　浅く埋める場合は、基本的に水浸け後に埋める。

③肥料袋に被害果を詰めて口を縛り、炎天下に放置し、熱で殺した後に埋める。

④数量が多いとかさばるので、被害部分だけをくり抜いて処理しても良い。

スモモヒメシンクイの特徴

１．卵期間は４～７日と短いのが特徴（２０℃で約７日）
２．孵化後直ちに果実内に食入し、約２７日で成虫となる。
３．交尾は羽化後２日目から行う。

2. その他対策

①薬剤防除等で管理をする。

②放任樹等シンクイムシ類の発生源となりそうな樹は伐採する。花桃・ボケなども含む

◆経済部農業資材課よりお知らせ
（令和７年５月 JA 広報誌と一緒にチラシで周知をしております）

以前よりお知らせしてある通り、ダーズバン剤が２０２５年２月４日付けで農薬登録が失効になりました。

農産物販売への影響・混乱を避けるため、すでに防除基準より削除されておりますが、在庫があっても使用をしないようお願いいたします。

当ＪＡより購入された製品に限り、期日を決め回収を受付いたします。

１．対象農薬：ダーズバンＤＦ（167g/500g）・ダーズバン乳剤 40（400㎖）・ダーズバン粒剤（3kg/10kg）
２．期　　間：令和７年５月１５日（木）～６月３０日（月）
３．回収店舗及び問い合わせ先：ＪＡファーム篠ノ井・松代店・更北営農資材センター・若穂営農資材センター・信田支所・大岡店
４．留意事項：商品条件により、有償無償がありますのでご注意ください。